

令和 2 年度水道事業会計決算概要

1 業務量

区 分	令和 2 年度	令和元年度	比較増減	前年度対比
行政区域内人口 (人)	373,833	376,141	△ 2,308	99.39
給水人口 (人)	373,003	375,279	△ 2,276	99.39
給水戸数 (戸)	169,208	168,720	488	100.29
普及率 (%)	99.78	99.77	0.01 ^P	—
総配水量 (m ³)	41,257,686	40,628,491	629,195	101.55
内 自己水 (m ³)	12,829,221	12,900,043	△ 70,822	99.45
県水 (m ³)	28,428,465	27,728,448	700,017	102.52
訳 県水依存率 (%)	68.90	68.25	0.65 ^P	—
1人1日平均配水量 (ℓ)	303	296	7	102.36
有収水量 (m ³)	38,411,628	37,827,050	584,578	101.55
有収率 (%)	93.10	93.10	0.00 ^P	—
供給単価 (円/m ³)	134.56	137.56	△ 3.00	97.82
給水原価 (円/m ³)	124.16	123.56	0.60	100.49

2 主要事業

(1) 第 7 期配水管整備事業

935,785,708 円

○配水管等布設替工事

φ 50 mm～φ 800 mm 延長 9,554m

〔第 7 期配水管整備事業の概要〕

新たに幹線管路の耐震化を進めるとともに、被災時の活動拠点となる医療機関・避難所などすべての重要施設への配水管路の耐震化を計画的に行い、出水不良や漏水・濁水等の原因となる老朽管の更新などについても耐震化を併せて実施する。

事業年度 平成 28 年度～令和 2 年度 (5 か年間)

事業費 計画 5,000,000 千円

事業量 配水管整備延長 計画 38,000m

(2) 第 2 期水道施設整備事業 (後期)

538,473,419 円

○東部配水場

184,031,669 円

非常用発電設備工事、場内整備工事、舗装工事

○嵩山、雲谷、吉祥、中山加圧所

56,738,710 円

非常用発電設備工事

○高山配水場

16,743,790 円

ポンプ棟築造工事、ポンプ棟建築施工監理業務

○多米配水場

36,936,670 円

滅菌室築造工事、滅菌室建築施工監理業務

○西口、東岩田、石巻、杉山計測所

152,225,806 円

電気設備更新工事

○柱八番圧力制御所

63,427,419 円

電気設備更新工事

〔第2期水道施設整備事業（後期）の概要〕

第2期水道施設整備事業に引き続き、計画的な老朽化設備の更新と配水設備の増強、自己水源の確保により、さらなる安定給水の確保を図る。

事業年度	平成28年度～令和2年度（5か年間）
事業費	計画3,250,000千円
主な事業内容	(1) 老朽化設備の更新 小鷹野浄水場、南栄給水所、二川加圧所 (2) 配水設備の増強 多米配水場設備改良、東部配水場築造 (3) 自己水源の確保 伊古部給水所築造

3 経営の効率化等の取組状況

(1) 有収率向上対策

- ①配水圧力コントロールシステムによる給水圧力の均一化
- ②未知漏水の早期発見と修繕
- ③配水管整備事業による老朽管等の布設替の推進（再掲）
R2:9,554m ※計画 H28～R2:38,000m

(2) 水道料金等収納率向上対策

- ①滞納予防対策
 - ・口座振替の推進（令和2年度末現在普及率77.26%）
 - ・身近な収納窓口（コンビニ）の利用
平成10年10月から一部、平成14年11月からほぼすべてのコンビニで実施
※令和2年度末現在 市内5社171店舗
 - ・キャッシュレス決済の実施
令和元年10月から外出しなくても支払いができるよう収納方法を拡大
- ②滞納整理強化対策
 - ・早期、少額時での滞納整理の実施
 - ・こまめな現地訪問、不明調査の徹底、電話催告、分納指導等の実施
 - ・停水措置の実施 令和2年度：2,318件
 - ・平成18年度から未収金回収期間の短縮を図るため督促後の催告を廃止し、より早期に停水予告を実施

(3) 技術の向上と人材育成対策

- ①水道GLPの認定維持
 - 取得年月日：平成31年3月19日
 - 取得の効果：水質検査結果の精度と信頼性の確保
外部認定機関の評価を受けることによる職員の検査技術の向上
- ※「水道GLP（Good Laboratory Practice）」（水道水質検査優良試験所規範）とは、水道水を検査することの重要性を考慮し、水質検査結果の精度と信頼性を確保する制度で、公益社団法人日本水道協会が認定するもの
- ②広域連携に係る水道技術支援
 - 平成29年度から田原市、令和元年度より東三河山間部（設楽町・東栄町・豊根村）へ本市水道技術職員を派遣し、水道施設点検等維持管理技術指導などを通じて、双方の水道技術の維持・向上を図るための技術交流を実施
- ③OB組織との協働による人材育成等の推進
 - 令和2年度から退職した職員で組織された水道事業に関する豊富な知識と経験を有するNPO法人東三河水道サポーターズと協働し、職員への技術継承及び水道に関する普及啓発を推進

4 予算執行状況

(1) 収益的収支

ア 予算対比 (税込)

(単位：円)

区 分	予 算(a)	決 算(b)	差 引(b-a)	執行率(b/a)
水道事業収益	7,009,000,000	6,646,381,272	△ 362,618,728	94.8%
営業収益	6,401,000,000	6,054,724,152	△ 346,275,848	94.6%
(うち給水収益)	(5,796,000,000)	(5,685,473,099)	(△ 110,526,901)	(98.1%)
営業外収益	608,000,000	591,657,120	△ 16,342,880	97.3%
(長期前受金戻入)	(561,000,000)	(568,736,616)	(7,736,616)	(101.4%)
水道事業費用	6,399,000,000	6,043,396,544	△ 355,603,456	94.4%
営業費用	6,223,510,000	5,877,907,645	△ 345,602,355	94.4%
営業外費用	165,490,000	165,488,899	△ 1,101	100.0%
予備費	10,000,000	0	△ 10,000,000	0%
収支差引	610,000,000	602,984,728	△ 7,015,272	—
(税抜)				
当年度純利益		452,428,668		
前年度繰越利益剰余金		945,699,354		
その他未処分利益剰余金変動額※1		477,000,000		
当年度未処分利益剰余金		1,875,128,022		
減債積立金積立額 ※2		455,000,000		
資本金組入額 ※3		477,000,000		
翌年度繰越利益剰余金		943,128,022		

・収入減の主なもの 給水収益、受託事業収益

・不用額の主なもの 人件費、工事請負費

※1 新会計基準の適用により平成26年度から計上。対応する現金は資産の取得時に企業外へ流出

※2 令和4年度予算編成時に必要な補填財源として455,000千円を積立て

※3 水道施設の資本の安定化を図るため、その他未処分利益剰余金変動額を資本金へ組入れ

(2) 資本的収支

ア 予算対比 (税込)

(単位：円)

区 分	予 算(a)	決 算(b)	翌年度繰越額(c)	差引(b+c-a)	執行率(b/a)
資本的収入	1,061,000,000	915,075,355	0	△ 145,924,645	86.2%
企業債	500,000,000	500,000,000	0	0	100.0%
負担金	560,524,000	414,803,355	0	△ 145,720,645	74.0%
補助金	476,000	272,000	0	△ 204,000	57.1%
資本的支出	3,215,535,000	2,608,473,513	19,503,200	△ 587,558,287	81.1%
建設改良費	2,738,269,000	2,131,233,553	19,503,200	△ 587,532,247	77.8%
償還金	477,166,000	477,163,588	0	△ 2,412	100.0%
補助金返還金	100,000	76,372	0	△ 23,628	76.4%
収支差引	△ 2,154,535,000	△ 1,693,398,158	△ 19,503,200	441,633,642	—
補填財源充当額	2,154,535,000	1,693,398,158	19,503,200	△ 441,633,642	—
補填財源残高	524,373,877	1,422,296,733	—	897,922,856	—

・収入減の主なもの 工事負担金

・不用額の主なもの 施設改良費

令和2年度 下水道事業会計決算概要（公共下水道＋地域下水道）

1 業務量

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	伸 率 %
行政区域内人口 (人)	373,833	376,141	△ 2,308	99.4
排 水 面 積 (ha)	5,436	4,447	989	122.2
排 水 人 口 (人)	298,630	267,877	30,753	111.5
普 及 率 (%)	79.88	71.22	8.66P	-
排 水 戸 数 (戸)	131,857	118,834	13,023	111.0
水 洗 化 人 口 (人)	290,631	261,067	29,564	111.3
水洗化率(人口) (%)	97.32	97.46	△ 0.14P	-
水 洗 化 戸 数 (戸)	127,889	115,400	12,489	110.8
水洗化率(戸数) (%)	96.99	97.11	△ 0.12P	-
年間総処理水量 (m3)	46,179,265	41,814,582	4,364,683	110.4
汚 水 処 理 水 量 (m3)	38,817,135	36,233,640	2,583,495	107.1
有 収 水 量 (m3)	30,588,229	27,371,612	3,216,617	111.8
有 収 率 (%)	78.80	75.54	3.26P	-
使 用 料 単 価 (円/m3)	150.09	151.15	△ 1.06	99.3
処 理 原 価 (円/m3)	125.99	128.33	△ 2.34	98.2

※令和2年度から地域下水道事業を統合。

※有収率は、有収水量を汚水処理水量で除して算出したもの。

2 予算執行状況（下水道事業会計）

(1) 収益的収支

ア. 予算対比(税込)

(単位:円)

区 分	予 算 (a)	決 算 (b)	差 引 (b-a)	執行率 (b/a)
下水道事業収益	9,591,000,000	9,327,659,019	△263,340,981	97.3%
営業収益	6,877,000,000	6,697,614,680	△179,385,320	97.4%
(うち下水道使用料)	(5,126,000,000)	(5,050,121,714)	(△75,878,286)	(98.5%)
営業外収益	2,560,000,000	2,475,141,182	△84,858,818	96.7%
特別利益	154,000,000	154,903,157	903,157	100.6%
下水道事業費用	8,492,000,000	8,233,704,144	△258,295,856	97.0%
営業費用	7,722,555,000	7,488,830,291	△233,724,709	97.0%
営業外費用	733,445,000	733,438,001	△6,999	100.0%
特別損失	26,000,000	11,435,852	△14,564,148	44.0%
予備費	10,000,000	0	△10,000,000	0%
収支差引	1,099,000,000	1,093,954,875	△5,045,125	—

(2) 資本的収支

ア. 予算対比(税込)

(単位:円)

区 分	予 算 (a)	決 算 (b)	翌年度繰越額 (c)	差 引 (b+c-a)	執行率 (b/a)
資本的収入	8,127,619,950	4,214,598,755	3,846,629,350	△66,391,845	51.9%
企業債	4,385,900,000	2,204,600,000	2,138,100,000	△43,200,000	50.3%
負担金及び分担金	220,700,000	196,124,747	0	△24,575,253	88.9%
補助金	3,422,019,950	1,715,439,650	1,708,529,350	1,949,050	50.1%
出資金	99,000,000	98,434,358	0	△565,642	99.4%
資本的支出	12,259,398,900	7,724,831,752	4,129,132,300	△405,434,848	63.0%
建設改良費	1,055,383,000	834,835,422	0	△220,547,578	79.1%
下水道築造費	8,344,298,900	4,030,286,789	4,129,132,300	△184,879,811	48.3%
償還金	2,859,717,000	2,859,709,541	0	△7,459	100.0%
収支差引	△4,131,778,950	△3,510,232,997	△282,502,950	339,043,003	—
資本的収入額のうち翌年度繰越事業への財源充当額	—	△271,791,000	271,791,000	—	—
補填財源充当額	4,131,778,950	3,782,023,997	10,711,950	△339,043,003	—
補填財源残高	89,608,563	634,130,984	—	544,522,421	—

令和2年度 公共下水道事業決算概要

1 業務量

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	伸 率 %
行政区域内人口 (人)	373,833	376,141	△ 2,308	99.4
排水面積 (ha)	4,464	4,447	17	100.4
排水人口 (人)	267,587	267,877	△ 290	99.9
普及率 (%)	71.58	71.22	0.36P	-
排水戸数 (戸)	120,084	118,834	1,250	101.1
水洗化人口 (人)	260,591	261,067	△ 476	99.8
水洗化率(人口) (%)	97.39	97.46	△ 0.07P	-
水洗化戸数 (戸)	116,542	115,400	1,142	101.0
水洗化率(戸数) (%)	97.05	97.11	△ 0.06P	-
年間総処理水量 (m3)	43,047,559	41,814,582	1,232,977	102.9
汚水処理水量 (m3)	35,685,429	36,233,640	△ 548,211	98.5
有収水量 (m3)	27,762,206	27,371,612	390,594	101.4
有収率 (%)	77.80	75.54	2.26P	-
使用料単価(円/m3)	148.94	151.15	△ 2.21	98.5
処理原価(円/m3)	123.31	128.33	△ 5.02	96.1

※有収率は、有収水量を汚水処理水量で除して算出したもの。

2 主要事業

- (1) 第9次拡張事業 621,779,729 円
 (平成28年度～令和2年度の5か年事業の最終年度)
 ○汚水管渠の整備
 吉田方地区 φ 200mm L=959m
 橋良地区 φ 200～250mm L=1,640m
 ○雨水管渠の整備
 下地排水区 φ 1,420mm L=256m
- (2) 第1次再整備事業 2,663,012,916 円
 (平成28年度～令和2年度の5か年事業の最終年度)
 ○処理区再編
 野田・中島送水管 φ 450～1,200mm L=1,622m
 合流中継ポンプ棟 築造工事(土木)
 ○総合地震対策
 管渠 マンホール浮上防止 3か所
 ポンプ場 菰口ポンプ場築造工事(耐震)
 処理場 中島処理場場内中継ポンプ棟ほか耐震等実施設計
- (3) 合流式下水道改善事業 503,364,656 円
 貯留施設設置工事、管渠布設工事
- (4) 建設改良事業 740,356,467 円
 ○管渠施設 老朽管更生工事
 ○ポンプ場施設 八町中継ポンプ場4号汚水ポンプ改良工事
 ○処理場施設 中島処理場2号ブロワ制御弁改良工事
 ○その他 多機能型マンホール蓋設置

3 予算執行状況（公共下水道事業）

(1) 収益的収支

ア. 予算対比(税込)

(単位:円)

区 分	予 算 (a)	決 算 (b)	差 引 (b-a)	執行率 (b/a)
下水道事業収益	8,421,000,000	8,240,561,323	△180,438,677	97.9%
営業収益	6,359,000,000	6,195,458,465	△163,541,535	97.4%
(うち下水道使用料※1)	(4,609,000,000)	(4,548,409,749)	(△60,590,251)	(98.7%)
営業外収益	1,934,000,000	1,916,827,554	△17,172,446	99.1%
特別利益	128,000,000	128,275,304	275,304	100.2%
下水道事業費用	7,387,000,000	7,191,685,964	△195,314,036	97.4%
営業費用	6,707,096,000	6,531,783,209	△175,312,791	97.4%
営業外費用	659,904,000	659,902,755	△1,245	100.0%
特別損失	11,000,000	0	△11,000,000	0%
予備費	9,000,000	0	△9,000,000	0%
収支差引	1,034,000,000	1,048,875,359	14,875,359	—
(税抜)	当年度純利益		828,283,804	
	前年度繰越利益剰余金		1,213,608,736	
	その他未処分利益剰余金変動額※2		560,000,000	
	当年度未処分利益剰余金		2,601,892,540	
	剰余金処分		1,335,000,000	
	(減債積立金の積立て※3)		(123,000,000)	
	(建設改良積立金の積立て※3)		(652,000,000)	
	(資本金への組入れ※4)		(560,000,000)	
翌年度繰越利益剰余金		1,266,892,540		

・収入減の主なもの 一般会計負担金

・不用額の主なもの 人件費、修繕費、委託料、薬品費、動力費

※1 新型コロナウイルスの影響により、家庭用はの使用は増加したものの、業務用の使用が減少

※2 対応する現金は資産の取得時に企業外へ流出済み

※3 当年度の資本的収支不足額の補填に充てることと予算で定めた通りに積立て

※4 下水道施設の資本の安定化を図るため、その他未処分利益剰余金変動額を資本金へ組入れ

(2) 資本的収支

ア. 予算対比(税込)

(単位:円)

区 分	予 算 (a)	決 算 (b)	翌年度繰越額 (c)	差 引 (b+c-a)	執行率 (b/a)
資本的収入	8,036,619,950	4,136,112,818	3,846,629,350	△53,877,782	51.5%
企業債	4,333,500,000	2,155,800,000	2,138,100,000	△39,600,000	49.7%
負担金及び分担金	201,200,000	184,593,747	0	△16,606,253	91.7%
補助金	3,406,919,950	1,701,258,050	1,708,529,350	2,867,450	49.9%
出資金	95,000,000	94,461,021	0	△538,979	99.4%
資本的支出	11,855,398,900	7,341,187,230	4,129,132,300	△385,079,370	61.9%
建設改良費	948,049,000	740,356,467	0	△207,692,533	78.1%
下水道築造費	8,325,298,900	4,018,784,089	4,129,132,300	△177,382,511	48.3%
償還金	2,582,051,000	2,582,046,674	0	△4,326	100.0%
収支差引	△3,818,778,950	△3,205,074,412	△282,502,950	331,201,588	—
資本的収入額のうち翌年度繰越事業への財源充当額	—	△271,791,000	271,791,000	—	—
企業債	—	0	0	—	—
補助金(国庫補助金)	—	△271,791,000	271,791,000	—	—
補填財源充当額	3,818,778,950	3,476,865,412	10,711,950	△331,201,588	—
補填財源残高	84,514,639	631,317,876	—	546,803,237	—

・収入減の主なもの 企業債

・不用額の主なもの 工事費

令和2年度 地域下水道事業決算概要

1 業務量

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	伸 率 %
行政区域内人口 (人)	373,833	376,141	△ 2,308	99.4
排水面積 (ha)	972	-	-	-
排水人口 (人)	31,043	-	-	-
普及率 (%)	8.30	-	-	-
排水戸数 (戸)	11,773	-	-	-
水洗化人口 (人)	30,040	-	-	-
水洗化率(人口) (%)	96.77	-	-	-
水洗化戸数 (戸)	11,347	-	-	-
水洗化率(戸数) (%)	96.38	-	-	-
年間総処理水量 (m3)	3,131,706	-	-	-
汚水処理水量 (m3)	3,131,706	-	-	-
有収水量 (m3)	2,826,023	-	-	-
有収率 (%)	90.24	-	-	-
使用料単価 (円/m3)	161.39	-	-	-
処理原価 (円/m3)	152.39	-	-	-

※有収率は、有収水量を汚水処理水量で除して算出したもの。

2 主要事業

(1) 特定環境保全公共下水道		51,942,000 円
○天伯地区		
天伯処理場	施設撤去、設備撤去	
○豊南地区		
豊南処理場	汚泥引抜ポンプ改良工事	
(2) 農業集落排水施設		40,750,600 円
○嵩山地区		
管渠	管渠施設改良	
(3) し尿処理施設		18,830,900 円
○野依台地区		
野依台処理場	4号最初沈殿池汚泥引抜ポンプ改良工事 4号ブロワ改良工事 脱臭設備改良工事 汚泥棟空気圧縮機改良工事	
○杉山町いずみが丘地区		
いずみが丘処理場	脱窒槽攪拌機改良工事	

3 予算執行状況（地域下水道事業）

(1) 収益的収支

ア. 予算対比(税込)

(単位:円)

区 分	予 算 (a)	決 算 (b)	差 引 (b-a)	執行率 (b/a)
下水道事業収益	1,170,000,000	1,087,097,696	△82,902,304	92.9%
営業収益	518,000,000	502,156,215	△15,843,785	96.9%
(うち下水道使用料※1)	(517,000,000)	(501,711,965)	(△15,288,035)	(97.0%)
営業外収益	626,000,000	558,313,628	△67,686,372	89.2%
特別利益	26,000,000	26,627,853	627,853	102.4%
下水道事業費用	1,105,000,000	1,042,018,180	△62,981,820	94.3%
営業費用	1,015,459,000	957,047,082	△58,411,918	94.2%
営業外費用	73,541,000	73,535,246	△5,754	100.0%
特別損失	15,000,000	11,435,852	△3,564,148	76.2%
予備費	1,000,000	0	△1,000,000	0%
収支差引	65,000,000	45,079,516	△19,920,484	—
(税抜)	当年度純利益	38,211,266		
	前年度繰越利益剰余金	0		
	その他未処分利益剰余金変動額	0		
	当年度未処分利益剰余金	38,211,266		
	剰余金処分	38,000,000		
	(減債積立金の積立て)	(18,000,000)		
	(建設改良積立金の積立て)	(20,000,000)		
	(資本金への組入れ)	(0)		
	翌年度繰越利益剰余金	211,266		

- ・収入減の主なもの 一般会計負担金
 - ・不用額の主なもの 人件費、修繕費、動力費
- ※1 排水人口の減少により、使用料収入は減少

(2) 資本的収支

ア. 予算対比(税込)

(単位:円)

区 分	予 算 (a)	決 算 (b)	翌年度繰越額 (c)	差 引 (b+c-a)	執行率 (b/a)
資本的収入	91,000,000	78,485,937	0	△12,514,063	86.2%
企業債	52,400,000	48,800,000	0	△3,600,000	93.1%
負担金及び分担金	19,500,000	11,531,000	0	△7,969,000	59.1%
補助金	15,100,000	14,181,600	0	△918,400	93.9%
出資金	4,000,000	3,973,337	0	△26,663	99.3%
資本的支出	404,000,000	383,644,522	0	△20,355,478	95.0%
建設改良費	107,334,000	94,478,955	0	△12,855,045	88.0%
下水道築造費	19,000,000	11,502,700	0	△7,497,300	60.5%
償還金	277,666,000	277,662,867	0	△3,133	100.0%
収支差引	△313,000,000	△305,158,585	0	7,841,415	—
資本的収入額のうち翌年度繰越事業への財源充当額	—	0	0	—	—
企業債	—	0	0	—	—
補助金(国庫補助金)	—	0	0	—	—
補填財源充当額	313,000,000	305,158,585	0	△7,841,415	—
補填財源残高	5,093,924	2,813,108	—	△2,280,816	—

- ・収入減の主なもの 企業債
- ・不用額の主なもの 工事費

令和2年度 地域下水道事業業務量（予算決算対比）

区 分	令和2年度			
	予 算 ①	決 算 ②	比較増減 ②-①	伸率 (%)
行政区域内人口 (人)	376,000	373,833	△ 2,167	99.42
排水面積 (ha)	972	972	0	100
排水人口 (人)	31,833	31,043	△ 790	97.52
普及率 (%)	8.47	8.30	△ 0.17	-
排水戸数 (戸)	11,730	11,773	43	100.37
水洗化人口 (人)	30,706	30,040	△ 666	97.83
水洗化率 (人口) (%)	96.46	96.77	0.31	-
水洗化戸数 (戸)	11,257	11,347	90	100.80
水洗化率 (戸数) (%)	95.97	96.38	0.41	-
年間総処理水量 (m ³)	3,065,000	3,131,706	66,706	102.18
汚水処理水量 (m ³)	3,065,000	3,131,706	66,706	102.18
有収水量 (m ³)	2,844,000	2,826,023	△ 17,977	99.37
有収率 (%)	92.79	90.24	△ 2.55	-
使用料単価 (円/m ³)	165.26	161.39	△ 3.87	97.66
処理原価 (円/m ³)	148.93	152.39	3.46	102.32

※有収率は、有収水量を汚水処理水量で除して算出したもの。